

# TOREX IR REPORT VOL.20

第29期 報告書 2023.4.1 > 2024.3.31



## CONTENTS

■ P1 会長・社長メッセージ

■ P3 トップメッセージ

**新経営体制のもと、技術力を高めて  
持続的に成長するグループを目指します。**

■ P6 連結財務ハイライト

■ P7 About トレックス Vol.17

「2023年度省エネ大賞 製品・ビジネスモデル部門 審査委員会特別賞」受賞  
フェニテックセミコンダクター 第38回 ネプコンジャパンに出展

■ P9 会社情報・株式情報・株主メモ

■ 裏表紙 WEBサイトのご案内



代表取締役 会長執行役員

**芝宮 孝司**

代表取締役 社長執行役員

**木村 岳史**

## ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、日頃より当社グループ事業へのご理解とともに多大なご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび当社は、第29回定時株主総会のご承認を経て、芝宮孝司を代表取締役 会長執行役員、木村岳史を代表取締役 社長執行役員とする新体制を発足しました。事業のさらなる発展に力を尽くし、社員とともに邁進してまいりますので、倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

第29期(2024年3月期)は、エレクトロニクス市場全般においてコロナ特需の反動減や中国経済の停滞による影響が拡がり、車載機器や産業機器、通信機器、民生機器など各分野で、半導体・電子部品の在庫調整が生じる状況となりました。そうした中で当社グループは、アナログ電源ICの開発・販売を行う旧トレックスグループ(以下、トレックス)、ディスクリット半導体の受託製造を行うフェニテックセミコンダクター(以下、フェニテック)ともに売上高が大きく減少しました。受注環境の悪化を受け、トレックスにおいては、製品在庫の棚卸評価損など23億30百万円の影響額を損失計上し、また外部投資先の生産ラインに対する固定資産などの減損損失として、約17億円を計上しました。

結果として第29期の連結業績は、売上高257億51百万円(前期比19.4%減)、営業損失17億78百万円(前期は39億76百万円の営業利益)、経常損失24億52百万円(前期は39億81百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する当期純損失42億97百万円(前期は21億79百万円の親会社株主に帰属する当期純利益)となりました。

現在の市場は、在庫調整局面がしばらく続く様相を示しており、需要の回復は、第30期(2025年3月期)後半以降になる見通しです。しかし、アナログ電源ICやパワーデバイスなど当社グループが提供する製品は、私たちの生活と産業の発展に必要な存在であり、中長期的には著しい需要増加が見込まれます。当社グループは、今後の市場回復・再拡大を見据えながら、引き続き新製品の開発および量産体制の整備を進め、市場の伸びを積極的に取り込むことで、持続的成長を遂げてまいります。

# 新経営体制のもと、技術力を高めて持続的に成長するグループ

## 今回の社長交代についてお聞かせください。

**芝宮** 2015年より9年にわたり社長を務めさせていただきました。その間、二つの3カ年中期経営計画において指揮を執り、現行5カ年中期経営計画(2022年3月期～2026年3月期)が3年目を終えたところですが、次期計画の中身を早めに練っていく必要性を認識し、このタイミングで木村新社長へのバトンタッチを行うこととしました。体制の刷新によって経営の持続性を高め、グループの拡大を図っていききたいという想いです。

**木村** 私は、半導体プロセスのエンジニアとして開発業務に携わり、2003年に入社した当社では、開発本部・事業本部を中心に、営業本部でもマネジメントを行ってきました。電源ICメーカーとして培った基盤を活かし、「技術力を高めてビジネスを展開してい

く企業グループ]を実現すべく、経営を舵取りしてまいります。各種機器の消費電力を低減するDC/DCコンバータのような環境・社会問題の解決に資する製品をどんどん生み出し、当社グループの価値を高めていくことが、私の経営者としてのミッションであると考えています。

**芝宮** トレックスでは、この2024年3月期より「パワー半導体事業推進部」を立ち上げ、フェニテックとのシナジーを活かした取り組みを加速しています。私は今後、会長職として木村社長を支えながら、グループの統制に目を配り、グループシナジーを促進する役割を果たしてまいります。

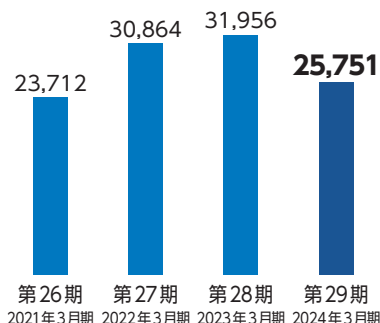
## 2024年3月期の営業状況を総括願います。

**木村** 半導体市場は、前々期中盤まで非常に活況でしたが、後半から需要低下に転じ、2024年3月期は

## 第29期業績ハイライト

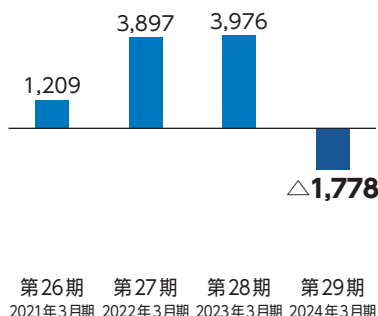
### ■ 売上高

(単位：百万円)



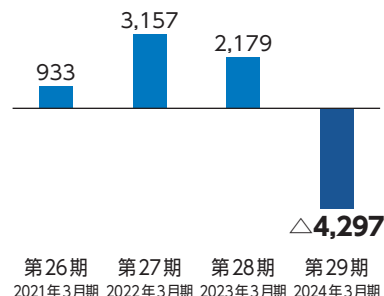
### ■ 営業利益

(単位：百万円)



### ■ 親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



## を目指します。

当社グループのお客様においても、通年で在庫調整が続きました。アナログ電源ICの開発・販売を主とするトレックスは、各アプリケーションで全般的に需要が低下し、全ての地域で売上高が減少しました。ディスプレイ半導体の受託製造を行うフェニテックは、特に中華圏のお客様の落ち込みを受け、アジア地域の売上高が大幅に減少しました。

**芝宮** トレックスは、2021年から2022年にかけて、半導体需要の増加に対応すべく生産キャパシティの拡充を図り、また生産拠点の見直しを行う中で、お客様への供給を維持すべく半導体ウエハの作り貯めを一定程度進めていました。しかし今回の需要低下・在庫調整により、受注量が大幅に減少したことを踏まえ、これらの製品在庫に関して棚卸評価損など23億30百万円の影響額を損失計上することとなりました。同時に、キャパシティを拡充した外部投資先の生産ラインに対する固定資産などの減損損失として、



約17億円を計上しました。そのため2024年3月期は、営業損益段階からの赤字決算を余儀なくされました。

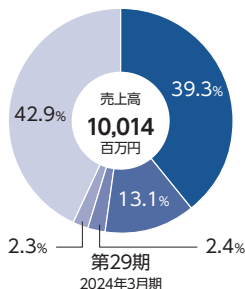
**木村** これまでも当社グループは、需要の変動を受けて業績に波を生じながらも、市場の回復を得て再び受注を伸ばし、従前以上の事業拡大を遂げる成長サイクルを繰り返してきました。今回の減損損失の対象となった固定資産についても、将来に向けて伸ばすべき中高耐圧・大電流製品の生産キャパシティ確保という目的に関しては、何も変わっておらず、今後の事業拡大に伴い、活用してまいりたいと考えています。

**芝宮** 製品在庫については、計上した棚卸評価損は評価損の対象となった製品が販売できれば回収する

## TOIREX

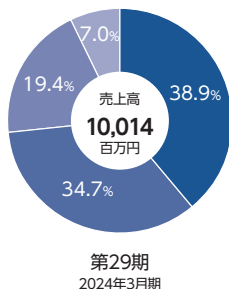
### アプリケーション別売上高

■産業機器 ■車載機器 ■医療機器  
■ウェアラブル機器 ■その他機器



### 地域別売上高

■日本 ■アジア ■欧州  
■北米

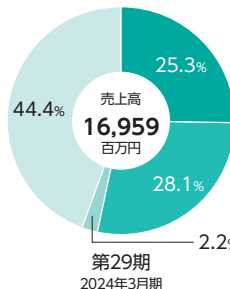


## Phenitec

For Further Growth Together

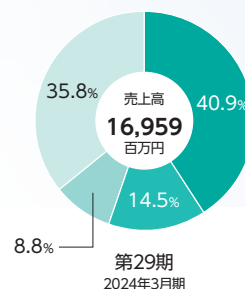
### アプリケーション別売上高(参考値)

■産業機器 ■車載機器 ■医療機器  
■その他機器



### 地域別売上高

■日本 ■アジア ■欧州  
■北米



※ トレックス・セミコンダクター向けの内部取引分を含みます。

ことができます。市場回復・急発進に備え、対応準備を進めていきます。

### Q 今後の見通しと取り組みをご説明願います。

**木村** 現在、一部のお客様では在庫が回転し始め、新規受注につながってきましたが、全般的には在庫調整がまだ続いており、需要が本格的に回復していくのは、2025年3月期の後半以降になる見通しです。その中でトレックスは、フェニテック鹿児島工場の専用ラインにおいて小型・高効率DC/DCコンバータなどの量産を開始する一方、海外委託先との連携により車載機器・産業機器向けに中高耐圧・大電流製品のラインナップ化を進めていく方針です。フェニテックは、「パワーデバイスビジネスの推進」を経営方針に打ち出し、SiC(炭化ケイ素)デバイスやパワーMOSFET(金属酸化膜半導体電界効果トランジスタ)、IGBT(絶縁ゲート型バイポーラトランジスタ)、酸化ガリウム製品などの開発・量産化に注力します。そして、これらフェニテックが手掛けるパワーデバイスのチップ等を活用し、トレックスブランドで販売する「パワー半導体事業」を軌道に乗せるべく、グループを挙げて取り組んでいきます。

**芝宮** 2025年3月期の連結業績は、下期からの需要の戻りを前提として、増収・黒字回復を見込んでいます。厳しい市場環境が当面続くと思われませんが、将来を見据えた生産増強および製品開発については、これまでの投資スタンスを継続し、持続的成長のための基盤を築き上げていきます。



### Q 株主・投資家の皆様にお伝えしたいことは？

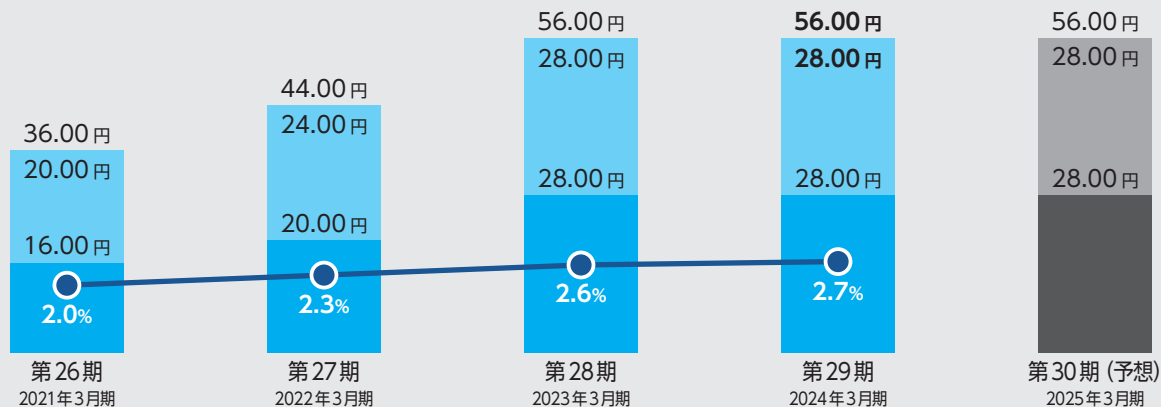
**木村** 当社は株主還元について、中期経営計画にも掲げる「DOE 3.0%」を目標に、安定的かつ継続的な配当の実施により拡充を図る方針を定めています。前述の通り2024年3月期は、一時的に大きな損失を計上しましたが、半導体市場における当社グループ事業の中長期的な成長性に変わりないことから、今回の期末配当は、本方針に基づき当初の予定通り1株当たり28円とさせていただきます。これにより年間配当は、中間配当の同28円と合わせて同56円(前期同額)となりました。

私たちのビジネスモデルは、デザイン・インによる開発設計段階から、製品化・量産を経て販売収益に至るまで、一定の時間を要します。その間、半導体市場における需要の波や景気変動の影響を受けることは不可避ですが、より長いライフサイクルを持つ製品を多く生み出し、事業の持続的成長につなげていきたいと考えています。株主・投資家の皆様には、こうした当社グループ事業の特性と可能性をご理解いただき、将来の発展に向けて長期のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

		第26期	第27期	第28期	第29期
		2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
売上高	(千円)	23,712,981	30,864,245	31,956,887	<b>25,751,982</b>
営業利益	(千円)	1,209,294	3,897,675	3,976,219	<b>△1,778,180</b>
売上高営業利益率	(%)	5.1	12.6	12.4	<b>△6.9</b>
経常利益	(千円)	1,206,211	4,124,574	3,981,298	<b>△2,452,114</b>
親会社株主に帰属する当期純利益	(千円)	933,591	3,157,348	2,179,807	<b>△4,297,717</b>
総資産額	(千円)	31,512,129	34,770,317	37,048,739	<b>36,636,141</b>
純資産額	(千円)	19,789,922	22,729,277	24,593,934	<b>20,552,904</b>
自己資本比率	(%)	62.8	65.4	66.4	<b>56.1</b>
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	1,790,473	1,753,056	1,294,785	<b>1,927,295</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	△1,545,832	△1,608,519	△4,567,187	<b>△4,552,344</b>
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	2,175,021	△2,056,414	1,510,217	<b>2,705,397</b>
現金及び現金同等物の期末残高	(千円)	11,681,709	10,163,070	8,515,480	<b>9,140,420</b>
1株当たり当期純利益金額	(円)	85.42	288.60	198.69	<b>△390.73</b>
1株当たり純資産額	(円)	1,808.96	2,077.66	2,236.24	<b>1,868.50</b>

## 配当金の推移

■ 中間配当 ■ 期末配当 ■ 配当予想 ● 株主資本配当率 (DOE)



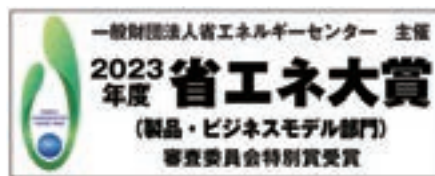
## 「2023年度省エネ大賞 製品・ビジネスモデル部門 審査委員会特別賞」受賞

一般財団法人省エネルギーセンター主催、経済産業省後援の『2023年度 省エネ大賞』にてロードスイッチIC XC8110/XC8111シリーズが「製品・ビジネスモデル部門 審査委員会特別賞」を受賞いたしました。

理想的なダイオードを再現し、チップイネーブル(CE)、過電流制限、突入電流制限、サーマルシャットダウン機能等を搭載したロードスイッチICです。

電流を一方方向にしか流さない従来のダイオードには、順方向電圧VFによるロスが大きく、発熱や電池持ち、個体バラツキが大きいといった課題がありました。そこでトレックスの小型/低消費技術を用いてこの課題を解決しつつ、電流制限や過熱保護、ON/OFF機能等の付加価値を高めた製品として、従来のダイオードには無いような理想的な特性を持つ、超小型で超低消費なスイッチICです。

今回の受賞は、一般的に回路上で逆流防止対策として使用されるショットキーバリアダイオードと比べ電圧ロスを約1/20に抑え、かつ完全な逆流防止機能搭載という理想的なダイオード特性によって、バックアップ電池の電池持ちや小型化に大きく貢献した製品である点を高く評価頂きました。また、一般的なダイオードには無い各種の保護機能に加え、IEC62368-1認証も取得し、機器の安全性にも貢献した点も評価いただきました。



授賞式の様子



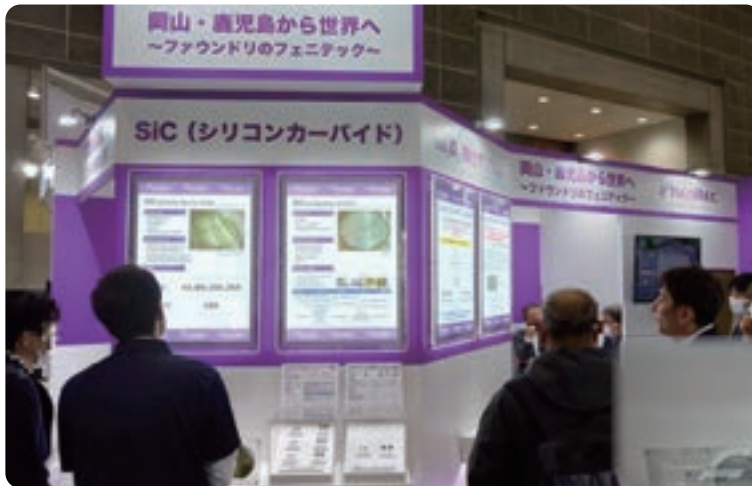
# フェニテックセミコンダクター 第38回 ネプコンジャパンに出展

フェニテックは、2024年1月24日から1月26日までの3日間、東京ビッグサイトで開催された第38回ネプコンジャパン パワーデバイス&モジュール EXPOへ初出展しました。

パワーデバイス&モジュールEXPOは、市場が益々拡大するパワーデバイス・パワーモジュールの専門展で、

パワーデバイス・パワーモジュールの部品・材料、製造・検査装置、パワーモジュール製品の販路拡大の絶好の場になります。

当社グループが取り組むSiC・Ga2O3の問い合わせが多く、改めて化合物半導体への注目度の高さと可能性を実感した3日間となりました。



当社ブースは大変大きな反響をいただき、たくさんの方々にお越しいただきました

当社生産品ウェハ(シリコン・SiC)などを展示しました



開催日:

2024年1月24日(水)~26日(金)

会場:

東京ビッグサイト 東6ホール

出展コンセプト:

**岡山・鹿児島から世界へ  
~ファウンドリのフェニテック~**

会社概要

社 名 トレックス・セミコンダクター株式会社  
 所 在 地 東京都中央区新川1-24-1  
 DAIHO ANNEX 3F  
 設 立 平成7年(1995年)3月  
 資 本 金 29億6,793万円  
 事業内容 1. 半導体デバイスの開発、設計、製造  
 2. 半導体デバイスの販売  
 従業員数 連結 / 1,042名 個別 / 190名

役員一覧 (2024年6月26日現在)

取締役 (監査等委員である取締役を除く)

代表取締役 会長執行役員	し	み	こ	じ
	ば	や	う	し
	宮	孝	司	
代表取締役 社長執行役員	き	む	た	し
	木	村	た	史
			け	
取締役 執行役員	み	た	た	し
	宮	田	か	史
			敬	き
取締役 執行役員	さ	い	し	き
	くら	井	げ	樹
			茂	
取締役 執行役員	ま	か	た	か
	前	川	貴	
			貴	
取締役 執行役員	や	も	と	は
	山	本	も	晴
			智	
取締役	い	い	ひ	ゆ
	石	井	ろ	き
			弘	幸

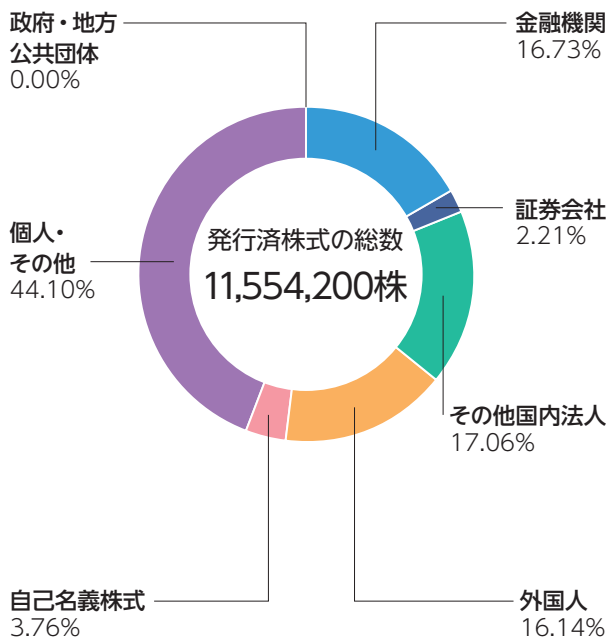
監査等委員である取締役

常勤監査等委員 (社外)	い	だ	こ	た	ろ
	池	田	耕	太	郎
			太郎		
監査等委員 (社外)	か	ま	な	た	
	川	た	お	か	
		侯	尚	高	
			尚		
監査等委員 (社外)	ひ	せ	ゆ	み	
	ろ	瀬	田	美	
			由		
監査等委員 (社外)	そ	だ	さ	と	し
	園	田	と	聡	
			聡		

株式の状況

発行可能株式総数..... 36,673,600 株  
 発行済株式の総数..... 11,554,200 株  
 株主数 ..... 4,998 名

所有者別株式分布



## 大株主（上位10名）

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	1,028	9.25
PERSHING-DIV. OF DLJ SECS. CORP.	819	7.37
THE BANK OF NEW YORK 133652	676	6.09
藤阪 知之	477	4.30
株式会社中国銀行	472	4.25
アルス株式会社	452	4.06
吉備興業株式会社	397	3.58
尾崎 貴紀	321	2.89
芝宮 孝司	296	2.67
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	280	2.52

※1 当社は、自己株式を434,333株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

※2 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 株主メモ

**事業年度** 4月1日から翌年3月31日まで

**定時株主総会** 毎事業年度終了後3ヵ月以内

**株主確定基準日** 3月31日

**期末配当金  
株主確定日** 3月31日

**中間配当金  
株主確定日** 9月30日

**単元株式数** 100株

**株主名簿管理人** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

**事務取扱場所** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社  
証券代行部

**郵便物送付先・  
連絡先** (郵便物送付先)  
〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
(連絡先)  
0120-782-031

**公告方法** 当社の公告方法は、電子公告としております。

ただし事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載しております。当社の公告掲載URLは次のとおりです。  
<https://www.torex.co.jp/>

当社の最新情報は  
WEBサイトでご覧いただけます。

<https://www.torex.co.jp/>

トレックス 



1 企業情報

2 サステナビリティ



3 投資家の皆さまへ

経営ビジョン

財務ハイライト

トレックス・セミコンダクター株式会社  
〒104-0033 東京都中央区新川1-24-1  
DAIHO ANNEX 3F  
TEL (03)6222-2851



見やすく読みまちがえにくいユニバーサル  
デザインフォントを採用しています。



環境に配慮した植物油  
インキを使用しています。

